

3 複数系列制御方式の立ち上げ方法

本編 § 29 制御システムの立上げ（初期設定）において、複数系列制御方式適用時の展開池での試運転方法を概説したが、本章ではその詳細について述べる。

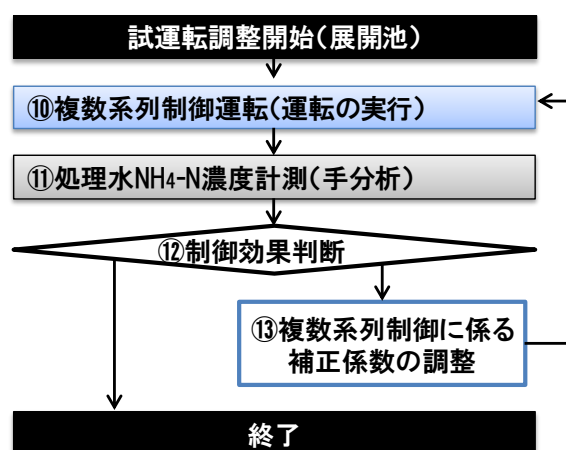
展開池の試運転調整の流れを図資 3-1 に示す。

まず、⑩では代表池と同一もしくは異なる系列の処理池（展開池）の運転制御を実行する。複数系列制御方式は本編 § 9 複数系列における風量制御方式の概略、資料編 1.3 実証研究（③複数系列制御方式の実証）の詳細を参照のこと。展開池では式（資 1.1）に従い、代表池の DO 濃度を補正した値を DO 制御設定値として設定し、DO 可変制御を実施する。

次に、⑪では代表池および展開池において、処理水 $\text{NH}_4\text{-N}$ 濃度を測定する。

次に、⑫では代表池・展開池の処理水 $\text{NH}_4\text{-N}$ 濃度の差異を算出し、許容範囲内であれば試運転を終了する。

⑬では、代表池・展開池の処理水 $\text{NH}_4\text{-N}$ 濃度の差異が許容範囲外であれば、式（資 1.1）における展開池の補正係数 K' を調整する。処理水 $\text{NH}_4\text{-N}$ 濃度に関して、展開池の方が低い場合は補正係数 K' を小さくし、展開池の方が高い場合は補正係数 K' を大きくする。



図資 3-1 試運転の流れ（展開池）